

②廻堰大溜池地区【地区調査】

事業概要

○目的

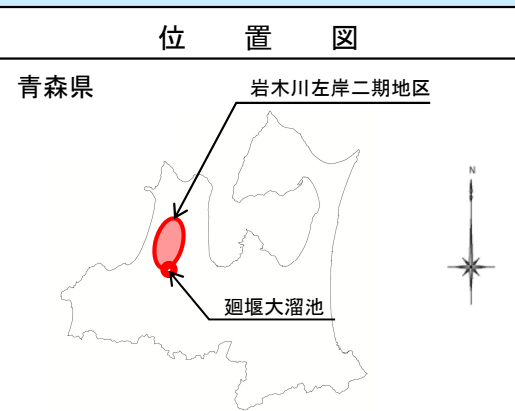
廻堰大溜池は、藩政時代（1664年）に築造された堤頂長が約4.2kmの堤頂長日本一のため池である。

国営西津軽第一期土地改良事業（S18年度～S44年度）において堤体の嵩上げ改修及び取水塔（後の第3取水塔）が築造され、国営西津軽第二期土地改良事業（S42年度～S55年度）において第1取水塔及び第2取水塔が造成された。その後、国営岩木川左岸土地改良事業（H8年度～H25年度）において堤体及び取水塔の改修が行われた。廻堰大溜池の周辺には住宅や農地があり重要性の高い施設となっており、耐震性能照査（レベル1）を実施したところ必要な耐震性を有していないことが判明した。

本事業では、耐震性能を満足するよう堤体の耐震化等を行うことにより農業生産性の維持と公共施設及び住宅への災害防止に資する。

○概要

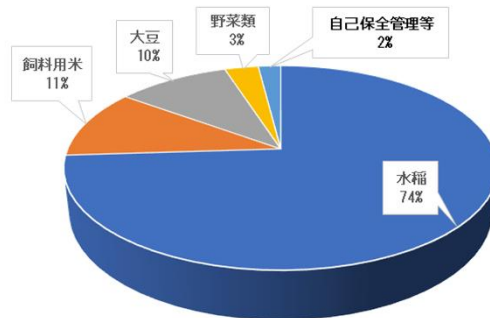
関係市町 青森県五所川原市、つがる市、北津軽郡鶴田町
 受益面積 8,680ha（精査中）
 （水田 8,680ha）
 事業構想 廻堰大溜池※（改修）1か所
 ※耐震化：堤体 一式
 更新：取水塔 2か所
 更新：洪水吐 2か所
 撤去：旧樋管 8か所



地区の特徴

水稻を中心に野菜等を組み合わせた複合経営を展開／大規模なため池で住宅等近接

■ 水稻を中心とした複合経営



資料：関係市町作付実績（R1～R5年平均）

■ つがるブランド農産物

受益面積の約9割を占めるつがる市では、美味しく、安全・安心なものづくりに取組むため、つがるブランド認定制度を策定し、農産物8品目（メロン、すいか、りんご、米、ねぎ、ごぼう、トマト、ながいも）を認定している。



■ 歴史的にも貴重なため池

廻堰大溜池は、津軽富士見湖という名称で愛され、日本一長い三連太鼓橋「鶴の舞橋」でも有名



廻堰大溜池と鶴の舞橋

地区の課題

大規模なため池の耐震性確保／住宅等が近接したため池の決壊等を未然に防止

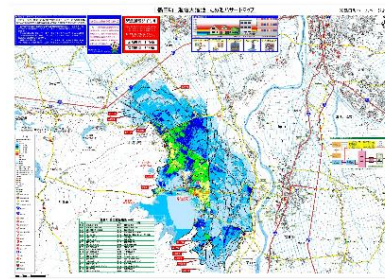
■ 大規模なため池で住宅等近接

堤頂長約4km、有効貯水量11,000千m³と非常に大規模なため池であり、住宅等が近接した箇所での堤体の耐震対策が必要

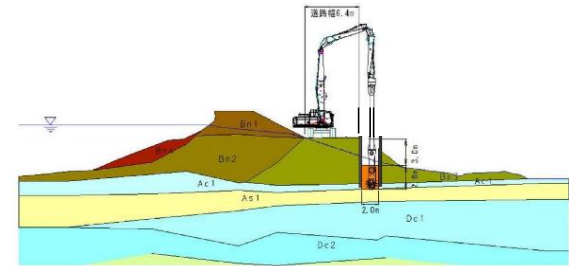


■ 決壊した場合の被害甚大

決壊した場合の浸水範囲、水深を示したハザードマップ（鶴田町HPより）



■ 耐震化により決壊等を未然に防止



耐震化（セメント改良工法）のイメージ

事業の効果

農業生産性の維持／公共施設及び住宅への災害防止



トマトの作付状況（露地栽培（加工用））



ねぎの作付状況



耐震化（セメント改良工法）の住宅近接施工事例

調査の方向性

- 堤体の土質調査及び耐震性能照査を行い、対策工法、対策範囲の検討を行う
- 住宅等が近接したエリアでの施工に対応した対策工法、施工計画を検討